

## 指定管理者による管理運営の実施状況報告

- 1 施設名：福岡自治研修センター（まなびのやど福岡）
- 2 指定管理者名：OMグループ（代表団体 株式会社オーエンス）
- 3 指定期間：令和5年4月1日～令和10年3月31日
- 4 施設設置目的：福岡県及び県内市町村の職員の研修を行うとともに、県民に学びの場を提供し、学習活動及び交流の促進に寄与する。
- 5 管理運営についての点検結果（令和6年4月1日～令和7年3月31日）
  - （1）点検方法：事業報告書、現地確認・ヒアリング等をもとに、指定管理者による管理運営の実施状況の点検を行った。
  - （2）点検結果：別添のとおり

# ①管理運営状況総括表

大項目	事業計画（取り組みや改善の内容等）	管理運営の概要									
①公共性（公益性）の確保	<ul style="list-style-type: none"> <li>・福岡県及び県内市町村の職員の研修を行うとともに、県民に学びの場を提供し、学習活動及び交流の促進に寄与する。</li> <li>・障がいのある方が安心して利用できるよう施設職員に対する研修等を行う。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・県民に学びの場を提供することを念頭に置き、スポーツ団体、同好会、企業、大学や高校を中心とした学校等、幅広い世代の多岐にわたる団体を受け入れ、学習活動及び交流の促進を図った。</li> <li>・県及び市町村職員の研修施設として円滑な管理運営を行った。</li> <li>・障がいのある方への合理的配慮の考え方にに基づき、チェックイン・チェックアウトの時間帯以外にも対応した（同伴者も同様）。レストランでの食事が難しい方には、部屋食対応とし、刻み食等の提供を行った。</li> <li>・昨年度に引き続き、障がいのある方や外国人に関する人権研修を実施し、ハラスメントやダイバーシティに対する認識の確認を行った。</li> </ul>									
②施設利用及びサービス向上	<ul style="list-style-type: none"> <li>・多くの方に利用していただけるよう、リーフレット、WEB、イベント、直接訪問による利用案内等の広報活動を行う。</li> <li>・近隣施設と連携した取組を実施し相互の施設利用を促進する。</li> </ul>	<p>【一般利用者数（県、市町村職員研修を除く。）】 12,974人（対前年度比171%）※令和5年7月から一般利用開始</p> <p>（内訳）</p> <table border="1"> <tr> <td>研修室等の利用 （対前年度比）</td><td>12,477人 (204%)</td><td>延べ22,562人日 (257%)</td></tr> <tr> <td>宿泊室の利用 （対前年度比）</td><td>8,662人 (245%)</td><td>延べ14,456人日 (251%)</td></tr> <tr> <td>うち宿泊室のみ利用</td><td>497人</td><td>-</td></tr> </table> <p>レストランの利用 延べ36,576食</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・利用者アンケートの分析によると、9割以上の方が満足している状況であった。顧客化が進むとともに、新規利用者も取り込むことができ、前年度より大幅に利用者数が増えることとなった。</li> <li>・ホスピタリティ向上に向け、受付職員全員が、宿泊施設の従業員を対象としたおもてなし研修（県観光政策課主催）に参加した。</li> <li>・リーフレットやホームページ等による利用案内のほか、アンケートデータに基づき、近郊の企業や私立高校を直接訪問し、施設の利用案内を行った。</li> <li>・安全性を考慮して施設運営を行った。特に入浴時間については、飲酒後の入浴による事故を防止するため、22時30分の完全退室を徹底した。その他、夏場における熱中症対策を考慮した上での冷房の運用を行った。</li> <li>・大野城市の各コミュニティセンターとは双方のリーフレット等を置き、相互の施設利用を促進した。</li> </ul>	研修室等の利用 （対前年度比）	12,477人 (204%)	延べ22,562人日 (257%)	宿泊室の利用 （対前年度比）	8,662人 (245%)	延べ14,456人日 (251%)	うち宿泊室のみ利用	497人	-
研修室等の利用 （対前年度比）	12,477人 (204%)	延べ22,562人日 (257%)									
宿泊室の利用 （対前年度比）	8,662人 (245%)	延べ14,456人日 (251%)									
うち宿泊室のみ利用	497人	-									

大項目	事業計画（取り組みや改善の内容等）	管理運営の概要
③経営（収支）改善	<ul style="list-style-type: none"> <li>施設の設置目的に沿った利用に配慮しつつ、施設利用の促進を図り、利用料収入の確保にも努める。</li> </ul>	<p>【収入（指定管理料を除く。）】 83,670,354円（対前年度196%） うち利用料金収入82,716,940円</p> <p>【指定管理料】 83,922,701円（物価高騰分管理経費として別途2,230,503円）</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>高評価に伴う利用者数の増加により、収入も増加した。</li> <li>研修室等の利用できる室数にまだ余裕があるため、利用者の更なる増加に向けて改善の余地がある。</li> <li>経費についても、収支に影響する変動費の部分である冷暖房は室内温度を日々監視した中で、厳格な運用を行い、節電に努めている。</li> </ul>
④職員確保方策及び健全な財政基盤	<ul style="list-style-type: none"> <li>業務内容に応じた専門の知識・経験を有する者や業務責任者を配置するとともに、適切な施設管理運営に資する研修を実施する。</li> <li>安定した経営を行い、健全な財務体質を維持する。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>業務内容に応じたスキルを有する職員を配置し、適切な施設管理運営に努めている。</li> <li>施設職員に対して、おもてなし研修、安全教育、コンプライアンス研修等を実施し、各職員のスキルアップに努めている。</li> <li>利用者の増加に伴い、利用料収入は、顕著に増えてきており、今後の安定的な収入の確保につながってきている。</li> </ul>
⑤施設管理上の個別事項	<ul style="list-style-type: none"> <li>緊急時の対応体制を確保する。</li> <li>個人情報情報を適切に管理する。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>自衛消防隊を整備し緊急時の即応体制のため、2回の消防訓練を実施した。</li> <li>急な傷病者に備え、前年度に引き続き全職員が参加するAED研修を実施した。</li> <li>警備職員、資格保持者による警備研修を実施した。</li> <li>予約受付時等におけるメールの誤送信を防止するため、対策システムを導入済。前年度に引き続き、個人情報保護に関する研修、確認テスト及びハラスメント・コンプライアンス研修を実施した。</li> </ul>

## ②点検結果

<input type="checkbox"/> A+（提案内容を上回った） <input type="checkbox"/> A（提案内容をやや上回った） <input checked="" type="checkbox"/> B（概ね提案内容どおり） <input type="checkbox"/> C（提案内容をやや下回った） <input type="checkbox"/> D（提案内容を下回った）	<p>【総合コメント】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>利用者数や収入が前年度から増加し、利用者アンケートでも高評価を得るなど、学びや交流の場の提供を推進している。</li> <li>職員に対する各種研修を実施し、能力やサービスの向上に努めている。</li> <li>障がいのある方が安心して利用できるような取組を実施している。</li> </ul> <p>以上を総合的に判断した結果、概ね提案内容どおりの管理運営が行われている。</p>
---	--